

ユネスコ世界ジオパークに再認定決定！

ユネスコ世界ジオパーク地域には、4年に一度再認定審査が義務付けられています。これは、ジオパークの品質保持のために、見どころがきちんと保全され、観光などの地域産業や教育と結びついて活動しているかを確認する審査です。

現地調査が行われた各地域の認定可否を決める、ユネスコ世界ジオパークの審議会が9月5日に北アフリカ・モロッコ王国にあるマラケシュで開催され、



会場となった建物



審議会の様子

今年8月までに現地審査が行われた60地域について審議が行われ、その結果洞爺湖有珠山ジオパークはユネスコ世界ジオパークに再認定されました。今後4年間、ユネスコ世界ジオパークとして地域の魅力発信を続けられることになります。

アポイ岳ジオパーク（北海道様似町）、室戸ジオパーク（高知県室戸市）も、4年間の再認定となりました。

モロッコの地震報告

ユネスコ世界ジオパーク国際会議期間中、モロッコでマグニチュード6.8の地震が発生しました。世界遺産にも登録されているマラケシュの旧市街地は石造りの建物が多く、外壁が崩れ落ちたりするなどの被害がありました。子どもやペットを連れて逃げる人や、車で移動する人で、道路は一時身動きが取れない状態になりました。山間部では広範囲に被害が及び、死者2901人（9月13日時点）という惨事となってしまいました。

この地震は、ユーラシアプレートとアフリカプレートの動きに起因して発生したと考えられています。そのような地震は、日本でも多く発生しています。

私たちも、有珠山の噴火はもちろん、地震や津波などの自然災害に備えることが大切です。地震が来た時に自分や家族の身を守れるか。今一度、おうちの中をチェックしてみてください。



避難するモロッコの人々



がれきに埋もれた車